

ここから始まる

COMMUNICATION MAGAZINE.

GET HEART

ゲットハート



2002.12



特集『印賀鯛』を知っていますか？

『印賀鋼』を知っていますか？

出 雲地方は、全国でも有数の「たたら製鉄」の地として有名です。日野川周辺でも、砂鉄等をつかい、流域の各地で「たたら製鉄」が盛んでした。日野川の上流に位置する日南町もその一つ。かつては『印賀鋼』というブランドで、日本一の品質を誇る鋼を産出していたのです。

今回の特集は、日南町在住の山本裕二さんがまとめられた『改正 日南町の近代のたたら製鉄と和鐵』より、現在では「幻」となってしまった『印賀鋼』について、ご紹介します。



礪波鑪の印賀鋼

幻の逸品『印賀鋼』

日 南町史によると、文化6年（1809）に、青砥孫左衛門氏が『印賀鋼』の商標で、地元産の鋼を売り出したのが取引の始まりと言われています。『印賀鋼』は、印賀・礪波（礪波）、阿毘縁等で産出された純粋な日南町産砂鉄だけを使用しているのが特徴。『出雲鋼』で使われている出雲地方産の砂鉄を使っていません。当時より、その優秀な品質さが評価を受け、市場でも“日本一の鋼”として取引されていたそうです。



『印賀鋼』のふるさと

日 南町内には、「吉鑪」と「礪波鑪」という二つのたたら場がありました。いずれも大正時代後期には閉鎖されています。

特に、「吉鑪」は、優秀な鋼の品質にとって重要な、釜土と砂鉄の品質、そして技術者である村下の技術が最高と言われ、優秀な品質の『印賀鋼』を製造していました。製品は馬を使い、峠を越えて安来や米子に出荷されていたそうです。

一方の「礪波鑪」も優秀な品質の『印賀鋼』が製造されていましたが、詳細は今に残されていません。

これらの他にも、当時は、日野川源流に近い野富、正土原、杉谷、土屋にもたたらがあったとされ、また現在でも町内には銑鉄の製造を行う角炉の跡や、鉄の神様をまつる金屋子さんやたたら地蔵などが残っています。



印賀鋼の故郷 吉鑪
名刀に今も残る『印賀鋼』

日 本一の鋼・印賀鋼”は、その高い品質に、日本刀製造を行う刀匠たちにも熱い注目を集めていました。

大正後期にたたらが閉鎖された後は、たたらを経営していた家やたたら場等で大切に残されたものを譲り受けてもらい、まさに数少ない幻の逸品として使われていたそうです。『印賀鋼』で作った日本刀は、「吉鑪」製は抜群の切れ味を誇り、「礪波鑪」製は「青みがかった深い淵の色」の鉄色（かないろ）の冴えと粘りが特徴だったと伝えられています。

印賀鋼で鍛えられた日本刀は、「文部大臣賞」をはじめそのほとんどが全国有数の賞を受賞しています。その仕上がりの見事さには、それを目にした専門家が口々に驚嘆しています。

そして今、その魅力を今に残そうと、『印賀鋼』を自らの手で造りたいという人も現れています。

かつて、日本一の品質を誇った『印賀鋼』。日野川の源流のまち日南町から、そして日野川の砂鉄から全国へ、世界に発信できる品質の鋼が生み出されていたのです。



吉鑪の印賀鋼

印賀多々良うた

ここは、印賀の吉鑪
釜土よいか、村下がよいか
ほんによい鑪、吉鑪
印賀の鑪は日本一

ここは、印賀の吉鑪
サゲよいか、大工がよいか
ほんによい鑪、吉鑪
印賀の錬鉄は、日本一

ここは、印賀の吉鑪
小鉄よいか、村下がよいか
ほんによい鋼、印賀鋼
印賀の鋼は日本一

作：山本裕二

注1 釜土（粘土）
築炉用の粘土は、花崗岩の風化したもので珪酸（SiO₂）が適量で適度な耐火性と不純物も少ないことが条件であったため、苦心して選ばれていました。

注2 村下
村下の役割は、たたら製鉄における技術監督とも総責任者、炉の準備の指揮から始まり、砂鉄や木炭を炉に入れる作業などを行います。よい鋼ができるかどうかは、村下の腕ひとつにかかっていました。

注3 金屋子さん
金屋子神社に祭られている『金屋子（かなやご）』という製鉄や鍛冶の神さま
金屋子神がかかわると、質のすぐれた鉄が産みだされるという金屋子神に対する信仰が、たたらで働く人たちのあいだにひろまっていた。



礪波鑪跡の遠望

川に親しむ

「米子野鳥保護の会」会長

やすだ のぶゆき
安田 亘之 さん（米子市石井）



安田 亘之さん

「日野川は、散歩をしながらバードウォッチングができる楽しい場所ですよ」と、県内でも有数の野鳥の生息地である日野川の魅力を語るのは、「米子野鳥保護の会」の会長をつとめる安田亘之さんだ。「8倍程度の双眼鏡と、ポケット版の野鳥図鑑を持っていくとその楽しみも倍増しますよ」と微笑む。

安田さんの説明によると、日野川は県内3大河川（千代川、天神川、日野川）の中でも有数の野鳥生息地。平成8年発表によるデータによると、日野川で観測される野鳥は132種類も記録されています。

特に10月から3月にかけての時期がピークで、河口からわずか5キロメートルほどの間で、ガン、カモ、ワシ、タカ類などの野鳥の姿が数多く観測できるという。しかし、小鳥類は、ヨシ等の繁る場所でひっそりと暮らしていることが多いため、「普段、散歩を楽しんでおられる方の中でも、意外と気付いていない方が多いかもしれませんね」。



潜水で魚類を捕らえる珍しいカモの仲間 カワアイサ左 右



中洲で繁殖する
国鳥 キジ

安田さんが野鳥に親しむようになったのは、12歳のとき。生まれ育った熊本から両親の故郷である米子市へと帰省する際、早朝に通りがかった中海で、そこで飛び交う野鳥の姿を列車の窓越しに見て「なんて素晴らしいところだろう」と感動。野鳥の魅力を体感したそうだ。

その後、自宅でブンチョウやハトなどの鳥を飼育し、高校時代には部活動の合間に、大山で開催される探鳥会にも参加してきた。雄大な大山の自然の中で野鳥を見つけふれることの面白さはもちろん、その過程で先輩から様々なことを教わることの楽しさをここで感じたそうだ。自らが感じた自然とそこに生息する野鳥の魅力と感動を、先輩から後輩に教え伝えていくこと。これによって、自然とふれあうことの喜びと楽しさがたくさんの人々に広がっていく。これが安田さんの会活動の基盤になっている。

米子野鳥保護の会は現在、鳥取・島根両県の愛鳥家約150人が会員。昭和22年のスタート以来、米子水鳥公園建設に向けた活動や探鳥会等のイベントをはじめ、様々な自然保護活動を展開している。

今冬も、日野川や大山を会場にしての探鳥会を計画している。「親子連れでの参加も多いですよ。特に子供たちは、野鳥を間近に見るといって、普段の暮らしではなかなかできない体験に目を輝かせています」。こう語る安田さんの瞳も、まるで12歳のとき中海の野鳥に感動したころのように輝いていました。皆さんも身近な日野川の自然にふれあってみては、いかがでしょうか。 写真提供：安田 亘之氏



日野川に生息する鯉など魚類を狩る鷹 ミサゴ

日野川今昔

故きを温ねて

出雲街道

④

出雲街道をゆく

まじたわ 間地峠

間地峠は、標高479メートルの高さにある。両側から迫る山の間のわずかばかりの平地に石地蔵が安置されている。この平地には、参勤交代の頃は数件の茶屋もあったという。

寛文年中（1661～1672年）に二部の足羽五兵衛他、日野郡の有力者が、間地峠を修理、中安井の地に渡舟を作り「舟場」とし、四十曲峠を改修した。そしてこの路線を「出雲街道」と公称するのを得た功労者たちが、本陣やお茶屋に仰せ付けられたと名称出雲街道の起こりを今に伝えている。



間地峠にある出雲街道をしるす道標



間地峠から大山を望む



冬の「味」

「スッポン」

「スッポン」という言葉を聞いて、みなさんはどんなことを連想しますか？やはり「元気になる」「精が出る」と思う方が多いのではないのでしょうか。

スッポンが食べられるようになった歴史は意外と古く、今から約3千～4千年前の中国で始まったとされています。世界三大美人の一人として知られる楊貴妃も、宮中料理の食材として愛用していたようです。現在では、アジアだけでなく、世界中でのグルメ食として愛されています。

また漢方薬としての利用も長く、こちらも数千年の歴史があります。滋養強壮に効果があり、しかも副作用がないという安全性と実績が裏付けされているため、誰もが安心して口のできる優れた滋養食品です。

その栄養素は、他の肉類に比べてカルシウムでおよそ90～200倍、リンや鉄分では3倍以上とされています。ミネラルやコラーゲン、レシチン等も豊富に含まれており、現代人に不足しがちな様々な栄養素がバランス良く含まれているそうです。

スッポンはまさに「滋養・強壮」の代名詞。その秘密は、ズバぬけた生命力にあるようです。いわゆる普通の亀と異なり、行動は敏捷で闘争心も旺盛。水中で機能を停止して半年以上も生き続けるという驚異の生命体です。分類学上、爬虫類かめ目スッポン科スッポン属に属し、進化の過程でその姿形を変えることなく厳しい環境の変化にも耐えてきたという強い生命力からもそのパワーがうかがい知れますね。

取材協力

日野町交流センター リバーサイドひの
〒689-4526 日野郡日野町下榎1183 電話 0859-77-0333
料理、宿泊については要予約



スッポン料理

このスッポンの料理が食べられる施設のひとつに、日野町の「リバーサイドひの」があります。ここは日野町の第三セクターで運営される施設で、宿泊・宴会はもちろんレストランやサウナ付きの浴場もあります。町内はもとより関西地方や広島、岡山など県外の方の利用も多いそうです。

スッポン料理のメインはやはり鍋料理。時季によっては、施設のすぐそばを流れる日野川で育った天然物のスッポンを食べられるチャンスもあるそうです。このほか地元のイノシシを使った牡丹鍋や、夏場の鮎料理も自慢のひとつ。

同施設では、「テーマパークのような遊戯施設はありませんが、自然を満喫してのんびりできる場所です。自然の中で自分スタイルの遊びを見つけて楽しんでいただきたいと思います」と話しています。夏はホタルが飛び交い、冬には3月末頃まで時間帯によりオシドリの観察出来る場所が近くにあり、自然とふれあうにはとても良いところのようです。



第4回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 「鴛鴦群翔」妹尾 賢二さん
日野川根雨町地内（日野川）

水辺のオッチング

- 表紙写真 「鴛鴦群翔」 -

根雨オシドリ会員の努力で、根雨町地内の日野川にたくさんのオシドリが集まるようになりました。その光景をひと目見ようという遠来からの見学者でにぎわい、その誰もが眼前のオシドリの鮮やかな色に感嘆の声をあげます。雄大な日野川をバックに大群で飛び立つダイナミックな光景は、ここ根雨町でなければ見ることはできないのかもしれませんが。

日野川流域 ものい手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・11

浸水想定区域図

みなさんは、下の写真のような地図を見たことはありませんか。これは、浸水想定区域図といえます。

浸水想定区域とは、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲のことをいいます。

この浸水範囲は、日野川および法勝寺川で概ね百年に二回程度起こる大雨（日野川 二日間総雨量三〇八ミリ、法勝寺川 二日間総雨量三六〇ミリ）が降ったことにより、日野川および法勝寺川が氾濫した場合に想定される区域です。

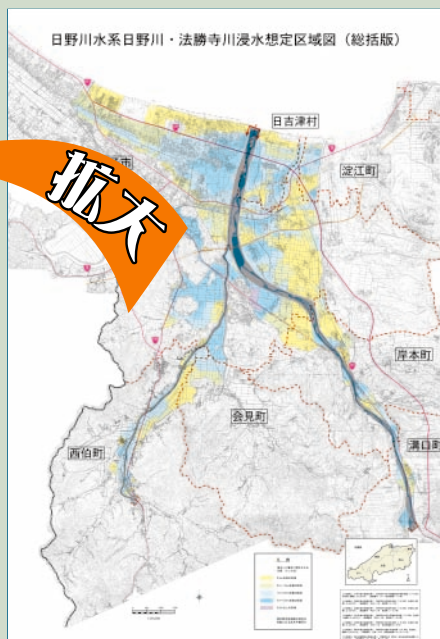
この浸水想定区域図は米子市・西伯町・会見町・日吉津町・淀江町・溝口町についての浸水範囲とその浸水した場合の水深を色分けした地図です。

最近では平成十二年九月に発生した東海豪雨災害に代表されるように、短期間のうちに記録的な豪雨が発生し、人口や資産が集中する都市部において洪水による大きな被害が発生しています。

この「浸水想定区域図」をご覧になっていただき、洪水氾濫に対する意識を持って、浸水の可能性のある区域や浸水深を知っていただくことにより、皆さんが住んでいる地域の浸水の可能性について理解していただければと思います。

日野川および法勝寺川の浸水想定区域図は日野川工事事務所、各市町村役場、又は、インターネットでご覧になれます。

アドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/>





イベントあんない INFORMATION



岸本町

「岸本町健康マラソン大会」

平成 15 年 1 月 1 日(祝)

概要.....日野川堤防コース(予定)

ファミリー 1 km

中学男子 2 km

一般(3 km・5 km)

女子 2 km

問い合わせ先.....岸本町 B & G 海洋センター

TEL 0859 - 68 - 3775

日南町

「第 9 回ゆきんこ祭」

平成 15 年 2 月 9 日(日) 10 時より

概要.....雪像作り、綱引き、そり、スノーモービル試乗会

問い合わせ先.....ゆきんこ村

TEL 0859 - 87 - 0431

日野町

「金持神社獅子舞」

平成 15 年 1 月 1 日(祝)

問い合わせ先.....日野町企画振興課

TEL 0859 - 72 - 0332

江府町

「奥大山チロルの里 全国スキーマラソン大会 2003」

平成 15 年 3 月 2 日(日) 予定

問い合わせ先.....江府町役場

TEL 0859 - 75 - 2211

川・ふれあいホール コーナー

菅沢ダムの資料展示室「川・ふれあい
ホール」の展示内容を紹介します。
平成 14 年 12 月 13 日(金) ~
平成 15 年 1 月 15 日(水)
「平成 14 年度第 5 回」
フォトコン入賞写真展

一般の方の作品展にもご利用頂けます。
詳しいことは編集事務局までお問い合わせ下
さい。

編集後記

冬の単調な風景のなかで日野川堰上流のたまりにはコハクチョウが泳いでいます。絆が強くファミリーで行動してこの付近に十数ファミリーが住みついています。大きく白っぽいのは親鳥、ちょっと小振りで色がついているのが今年生まれた子鳥で仲良く親子で泳いでいて微笑ましいですよ。これから寒くなります。日野川で野鳥(とくに渡り鳥)の観察や散策しながら運動不足を解消してみれば、いかがでしょうか？

本誌も発刊より 5 年たち号数も 21 号となりました。これも読者の皆様方と各市町村の方々の御協力のおかげと感謝いたしております。これからも紙面の充実にスタッフ一同努力してまいります。何分にも川の情報も入りにくくなってきており皆様方の御一報をお願い致します。また、お気づきの点、感想などもお聞かせ下さい。

松村 六男

あなたのこころを

GET HEART

GET HEART 第 21 号

発行

・日野川への想いを語る会

編集事務局

・国土交通省日野川工事事務所

〒 689 - 3537

米子市古豊千 678

TEL (0859) 27 - 5484

